

ファッションから見る日本の文化

実施日：平成28年8月16日～8月27日 於：ペルー、チリ

■ 派遣専門家



伴 真由子
BANSAN デザイナー

文化大学院大学を卒業後、企業にて世界の民族の伝統文化、テイストを生かしたデザイナーとして活動。在職中、自らの家族をテーマにした作品で装苑賞2位を獲得。その後、自身のブランドとしてBANSANを立ち上げる。日常に潜む美しさを見つけ、ドラマティックな衣服を提案している。

■ 事業概要

● ペルー



ペルー貿易観光促進庁での講演会



講演会で行われたファッションショー



アルパカの繊維生産地アレキパ視察



ワークショップで学生が作成した着物地の付け襟

● チリ



つけ襟のワークショップ



アンドレス・ベジョ大学での講演会



BANSANブランドの展示会



展示会での来場者との交流

■ 実施結果

世界の民族の伝統文化やテイストを生かしたファッションデザイナーである伴氏が、日本のファッションデザインの変遷とBANSANについての講演会、着物地を使った付け襟を作るワークショップ、代表作のファッションショーをペルーとチリで行いました。ペルーでは、貿易観光促進庁やモードの専門学校である「ニナ・デザイン」の協力を得て実施。アルパカの繊維生産地であるアレキパの視察も行いました。チリではアンドレス・ベジョ大学の全面協力を得て、大規模な展示会も行いました。両国で今後の交流についての意見交換の他、現地メディアからの取材も行われ、今後の交流が期待できる事業となりました。